

# How to Session-Based Test

# 自己紹介

- 根本 紀之  
@nemorine / CSM
- 札幌の某半導体メーカーに勤めるQAエンジニア。北海道と美味しいものをこよなく愛す。アジャイル系とソフトウェアテスト系の両方に足を突っ込んで社外活動をしている。
- アジャイル札幌代表

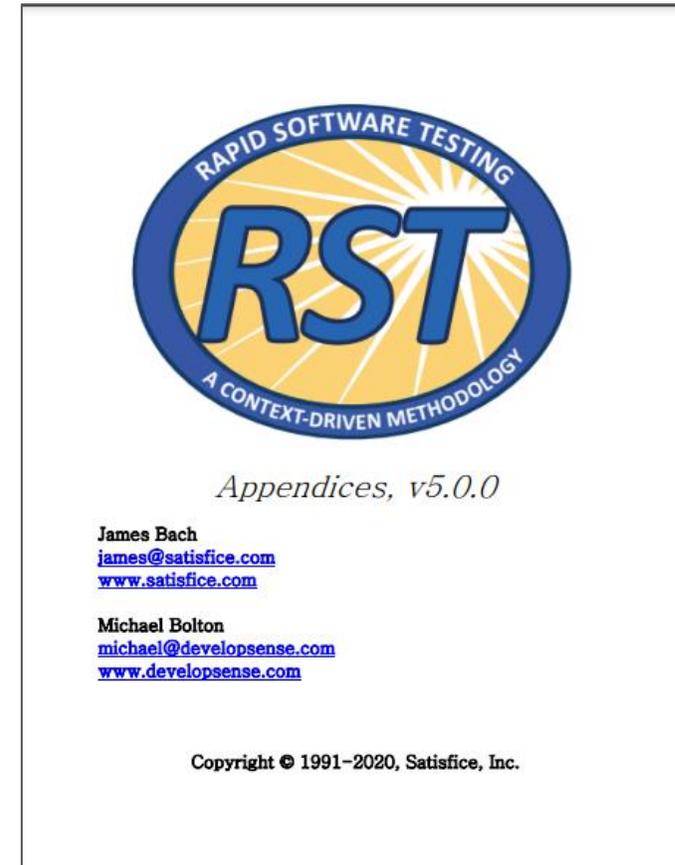
**Agile  
Sapporo**

2021/4/12  
重版出来!



# Session Based Testの紹介

- James BachさんとMichael Boltonさんが書いたRST (RAPID SOFTWARE TESTING) より Session Based Testingを紹介します。



<https://www.satisfice.com/download/rst-appendices>

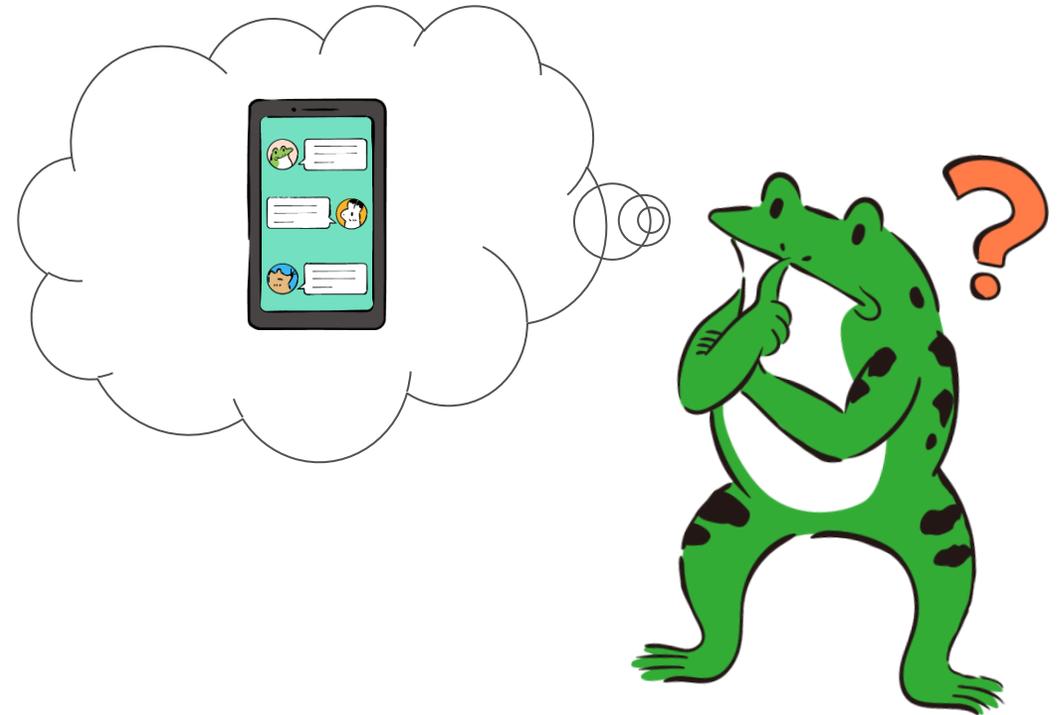
# Session Based Testとは？

- 2000年にJamesとJonathan Bachによってセッションベーステスト管理 (SBTM)が考案された
- 探索的テストのよりフォーマルな形
- セッションという単位で探索する
- 特徴は以下の4つ
  - チャーター
  - タイムボックス
  - レビュー可能な結果
  - デブリーフィング



# チャーター

- テストセッションのための1～3文のミッション
- 自由に包括的なもの
- テスターにバリエーションの機会を与えるようにデザインする



# タイムボックス

- 45分～2時間半の時間
- 短いセッションは1時間±15分
- 通常のセッションは90分
- 長いセッションは2時間
- セットアップや報告も含んだ時間として考える



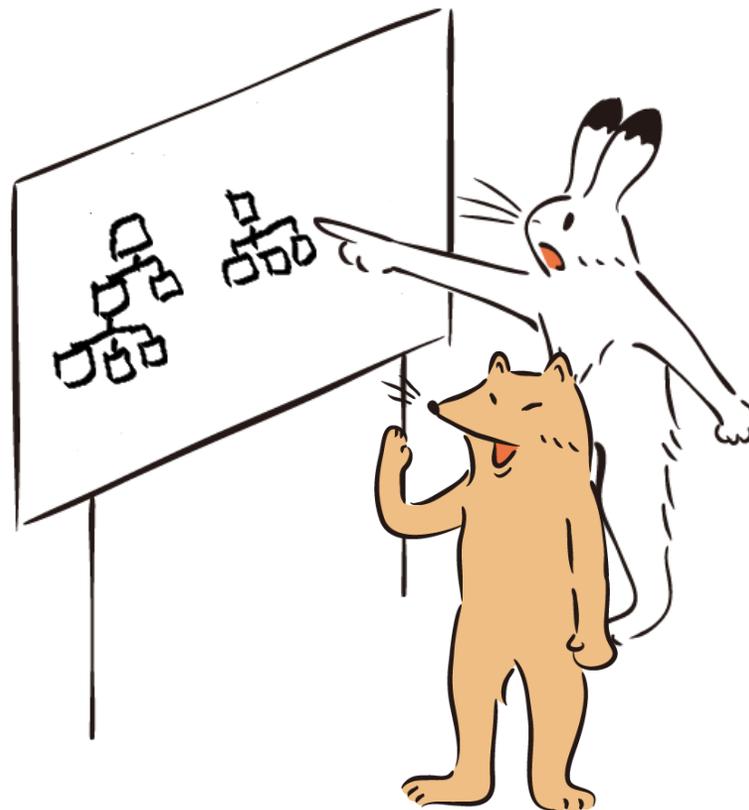
# レビュー可能な結果

- 通常はセッションシートの形をとり、以下の情報を含む
  - チャーター
  - カバレッジエリア（製品エリア、製品エレメント、品質基準、テスト技法など）
  - 開始時間
  - テスター名（複数可）
  - 時間の内訳
  - セッション期間（長い、普通、短い）
  - テストの設計と実行（オンチャーターの総時間に占める割合）
  - バグの調査と報告（オンチャーター時間全体に占める割合）
  - セッションのセットアップ（オンチャーター時間全体に占める割合）
  - チャーター／オポチュニティ
  - データファイル
  - テストノート
  - バグ
  - 問題



# デブリーフィング

- テスト担当者とテストリーダーやテストマネージャーが話す短い会話
- 典型的には5分から10分
- 確認すること
  - セッションシートが読みやすく、理解しやすいか
  - 発見されたバグや問題について
  - (マネージャーの) 形式の確認



# Enjoy Testing !



Session Based Testで  
快適な探索ライフを！